

# 千葉県廃棄物処理施設設置等審議会

## 議 事 録

平成27年度 第2回

### 議題

- (1) 株ナリコーの産業廃棄物焼却施設変更計画について
- (2) 株和光サービスの産業廃棄物焼却施設変更計画について
- (3) その他

## 平成27年度 第2回千葉県廃棄物処理施設設置等審議会 議事録

### 1 日 時

平成27年10月14日（水） 13:30～16:30

### 2 場 所

千葉市文化センター5階セミナー室（千葉市中央区中央2-5-1）

### 3 出席者

審議会：5名

事務局：生駒環境対策監，大竹次長

廃棄物指導課：葉岡部課長，強口副課長，石崎室長，安藤主幹，勝又主幹，  
西田主査，久保田主査，宮腰主査，川股副主査，  
多田副主査，分部副主査，鈴木技師

環境政策課：宮澤副主査

印旛地域振興事務所：上林技師

環境研究センター：大石研究員

### 4 議 事

- (1) ㈱ナリコーの産業廃棄物焼却施設変更計画について
- (2) ㈱和光サービスの産業廃棄物焼却施設変更計画について
- (3) その他

### 5 議事要旨

- (1) ㈱ナリコーの産業廃棄物焼却施設変更計画について

平成27年7月7日に開催した第1回千葉県廃棄物処理施設設置等審議会において、未回答であった委員からの意見等について事業者より回答があった。計2回の審議により本計画については審議を終了とした。

委員：生活環境影響調査の表4の値というのは、工場としての保障値みたいなもので、保障値まで出してもいいということはないが、そこまでは、一応保障されるという意味合いがあると思う。実際の稼働状況の濃度でやる場合は、その濃度を支持する努力が必要になる。さらにもう一つ、塩化水素濃度の排出濃度管理に示していただいた、マニュアルどおりしっかりやっていただければと思う。

委員：消石灰の噴霧量を上げるのだが、時間当たりどれくらいコストが上昇するのか。全体的な焼却コストを費用に考えて、結構効いてくるのか。

事業者：プランテックの炉は、プレコート式バグフィルターを使っており、消石灰を通常より多く吹き込んでいます。なおかつ、このSSWの風が吹いたときに吹き込むと  
言うことで、消石灰の量が増え、ばいじんの量が増えます。ばいじんの量が増える  
ということは、埋立処分量も増えるということで、コストは上がります。この  
ようなかたちで、ダウンウォッシュ時に、環境基準をオーバーしてしまうのは、  
問題があるので、コスト的には、全て含むというかたちになっておりますので、  
このまま管理を行っていきます。

委員：県に質問だが、中間処理施設の場合の観測井32項目の測定は法定か。

事務局：千葉県の指導要綱です。

委員：4ページ目だが、ばいじんの無害化処理施設の洗浄水について、コンテナに  
受けて埋立処分するとあるが、洗浄水を埋め立て処分することか。

事業者：ミキサーを掃除する時に発生する洗浄水がコンテナに入るので、ばいじんと  
一緒に、加湿し、泥状なもので埋立処分します。

委員：石灰を噴霧するという処理方式が変わって、採算性があるのかどうか。公的な事  
業でないので、チェックしておく必要がある。良い効果でなく、悪い効果の波及  
が出てくる可能性があるので、そうならないように、チェックをしておくこと。

委員：塩化水素の高濃度の対策をしっかりとっていただきたい。また、風向風速計の値  
と常時監視局の値を良くチェックすること。

委員：住民の方から意見が来ているが、苦情についてはどうなのか。

事務局：大気質に関する苦情はありません。また、苦情者とは、個別に対応しています。

## (2) ㈱和光サービスの産業廃棄物焼却施設変更計画について

事業者より変更計画の概要説明の後、各委員より意見が出された。

委員：敷地境界の西側で臭気調査をしているが、調査当日の状況からすると北側で測  
定すべきと考えるがいかがか。

事業者：実際測定したところ、北側よりもタンクに近い西側の地点の方で臭いがあつた  
のでその地点で測定をしました。

委員：その点は記載した方がいい。また、苦情が無いからというだけではなく、定性  
的な影響評価を述べた方がいい。

委員：周辺の住宅、居住はどうなっているか説明して下さい。

事業者：本日は住宅地図しかないので次回説明します。

委員：2次燃焼炉に加える廃油はどのような廃油でしょうか。

事業者：今検討しているのがほとんど水分で若干の油分が入った低質の廃油です。

委員：キルンを取り替えるにあたり、長持ちさせるために熱や酸性ガスによる腐食、  
劣化への対策を考えていますか。

事業者：10年間が十分な寿命であり、現状の耐火物で施工することが一番合っていると  
考えています。

委員：新たに2次燃焼室に廃油を加えるという事で、量的なバランスは計算されたの

でしょうか。

事業者：雨水の処理については、排ガス処理の冷却水としてかなりの量を必要としており、通常はその使用量が多いため逆に井水を導入して冷却の対応をしています。実際現状では2tまで雨水の噴霧をしなくても処理ができている現状から、その分の0.75tを廃油に切り替えたいと考えています。

委員：この施設はほとんどコンクリート舗装であり、最近のゲリラ豪雨等を考慮すると貯水升の容量等を考慮して全体を確認する必要があるのではないのでしょうか。

事業者：後日、資料を取りまとめて回答します。

### (3) その他

野田市南部工業団地内の産業廃棄物焼却施設の現在の状況等について説明を行った。